

丸市運送(東根)とタイミー 業務提携

企業と働き手を橋渡し

貨物運送業の丸市運送(東根市、高橋和義社長)は、空き時間に働く「スキマバイト」仲介のタイミー(東京)と県内企業では初めて業務提携を結んだ。労働力不足に悩む企業と、働き手を紹介するタイミーの橋渡しを担い、県内事業者の人材確保に貢献したい考えだ。

県内の人手不足解消へ一役

タイミーは、働き手(ワーカー)側の「働きたい時間」と企業側の「働いてほしい時間」をアプリを通じてマッチングする、スキマバイトサービスを展開している。全国で今年4月現在、物流や飲食、小売りなどの約18万社が導入し、登録しているワーカー数は約1100万人に上る。

丸市運送は、約1年前から倉庫の仕分け作業などを担う人材を募る際、タイミーを活用している。物量が急増する夏季や年末の繁忙期に人手不足が顕著になる課題を抱えていたが、タイミーを取り入れたことで、正社員やパートの残業時間減少などにつながった。繁忙期は急に人手が必要にな



業務提携契約を結んだ丸市運送の須田裕太山形営業所長(左)とタイミーの武内天真東北支社リーダー＝東根市・丸市運送

ることもあり、須田裕太山形営業所長は「若い世代のワーカーが多く、働きぶり

もいい」と評価する。労働力確保などで効果を実感したことで、丸市運送

は同様の悩みを抱える県内企業にもタイミーを紹介しようと考えた。今年5月に業務提携契約を締結し、既に導入につながったケースもある。丸市運送のホームページには、タイミー専用の問い合わせフォームを設けている。

丸市運送の佐藤正規経営企画室長は「タイミーを知っていても、新しい仕組みの導入にちゅううちよするケースがある」と分析する。同じ地場の自分たちが働きかけることで、県内の人手不足解消に貢献できる可能性があるとし「物流業として物をつなぐことに加え、人と人をつなぐことにも取り組んでいきたい」としている。

(伊豆田拓)